

JAPAN DENTAL SHOW 2025 in YOKOHAMA

SASAKI SPECIAL SEMINAR

Online seminar



Care & Communication

ケア&コミュニケーション

フリーランス歯科衛生士
沢口 由美子 先生
歯科衛生士の
仕事が楽しくなる！
予防歯科のやりがいと意義
1・2講演

医療法人社団 BRIGHT
i-スマイル歯科クリニック 院長
和田 圭祐 先生
日々で学び、
教えてきたからこそ伝えたい
歯科医療の夢ある未来へ！
1・2講演

医療法人社団 仁優会
たけした歯科 医局長
宮澤 貴裕 先生
デジタルワークフローによる
抜歯即時インプラント埋入と
即時暫間補綴装置装着
1講演

医療法人HIMAWARI
歯科診療所ひまわり チーフ歯科衛生士
藤井 真紀 先生
物販月200万円！
スタッフの人育成が
医院活性化と増患を生む！
1・2講演

医療法人社団 BTDC
本郷瀬田歯科医院 院長
小林 寛 先生
Nd:YAGレーザー
による
歯内療法の実践
1・2講演

オンデマンド配信
公開中

2025年9月26日(金)～28日(日)、パシフィコ横浜にて開催された
「ジャパンデンタルショー2025」のSASAKI展示ブースに於いて行われた、
第一線で活躍中の講師陣による「ササキスペシャルセミナー」をご視聴いただけます。

スマホ 右記二次元コードより
アクセスください。



PC ササキホームページTOPの
バナーをクリック。
<https://www.sasaki-kk.co.jp/>



SASAKI Care & Communication Vol.68 December 2025 お問い合わせ・ご意見:「C&C」事務局 細谷俊寛
FAX 0120-566-052 <https://www.sasaki-kk.co.jp>
発行:ササキ株式会社 東京都文京区本郷3-26-4 ササキビル4F

●本誌に記載された個人の氏名・住所・電話番号等の個人情報の悪用を禁じます。●本誌の記事・写真・図版等を無断で転載・複製することを禁じます。



DENTAL REPORT
アイデアを即、実行し、
患者とスタッフのための
豊かな歯科医療を構築
医療法人社団 木原会
木原歯科・内科医院 理事長
木原 和喜 先生
P01-08



INSIDE REPORT
縁がつないだ開業医の道。
専門を生かしながら、
口腔内をトータルに診る
LINO DENTAL OFFICE 院長
及川 麻奈 先生
P09-14



DOCTOR'S TALK
熊本から沖縄へ。
訪問診療が中心の
歯科医院を開業
医療法人社団 みかさ会
かなさんデンタルケア小塚 理事長
下石 衛 先生
P15-18



THE FRONT LINE
親から子への継承で
診療と患者層の幅を
広げる歯科医院
医療法人 宏佑会
かしわばら歯科クリニック 院長
柏原 佑哉 先生
医療法人 宏佑会
かしわばら歯科クリニック 理事長
柏原 宏則 先生
P19-22





待合室の目の前にある診療室は個室タイプ。ユニットは3台ある

熊本から沖縄へ。 訪問診療が中心の 歯科医院を開業

那覇市の「かなさんデンタルケア小祿」は訪問診療中心の歯科医院。本院は熊本市にある。沖縄に開業したきっかけと今の診療を伺った。

医療法人社団 みかさ会
かなさんデンタルケア小祿

理事長 下石 衛 先生



熊本地震を機に 沖縄での分院を開業

「かなさんデンタルケア小祿」は、那覇空港に近い「エスタジオ小祿」の1階にある。社会福祉法人が運営する介護施設や小規模保育園、薬局、フィットネスジム、スーパーなどが入居する複合施設だ。

開業は、2017年。熊本市にある「下石歯科医院京町診療所」の分院である。開業のきっかけは、下石衛理事長がエスタジオ小祿の社会福祉法人から誘われたことだった。「下石歯科医院は、祖父が1921年に宇土半島の三角町で開業しました。その後、父が継ぎ、私も関東などで勤務医の経験を経て、実家に戻るようになりました」

下石理事長は、少子高齢社会を見据え、下石歯科医院を熊本市内に開設することを父に提案。2002年に京町診療所を開業し、院長に就任した。「このまま熊本の開業医として働くのだろうと思っていたとき、人生が大きく変わるできごとがありました。2016年の熊本地震です。建物は無事でしたが、院内は機器や棚が倒れ、モノは散乱し、めちゃくちゃに。壊れたビルの貯水槽から水が流れたことによる水浸しの被害もありました」

一刻も早く診療を再開したかったが、被災証明がなかなか出ず、改修できない状況が続いた。下石理事長は、スタッフに給与を補償しながら休業するしかなかった。

「でも、被災して困っている多くの方たちから相談を受けているうちに、気持ちが変わっていきました。逆境をバネに『地震があったから、この生活がある』と思える未来にすることが大切なのではないか、と。新しいことに挑戦し、人生を変えるチャンスにしようと思ったのです」

そんなとき、エスタジオ小祿の社会福祉法人から「沖縄の福祉と医療のために力を貸して欲しい」と懇願された。思いがけない誘いだったが、下石理事長は沖縄での分院開業を決意したのだった。

開業当初は苦勞した 介護施設との連携

かなさんデンタルケア小祿のユニットは、3台。当初は外来がメインだった。介護施設の訪問診療を中心に運営する予定だったが、スムーズに介護側との連携が進まなかったからだ。下石理事長は熊本の下石歯科医院の再開と並行し、かなさんデンタルケア小祿の診療体制の整備に苦勞することになった。

「歯科医師になったばかりの頃、実家がある天草近辺の介護老人保健施設を訪問診療していました。その頃に比べると、コスト管理が厳しくなり、人手も足りず、介護施設に余裕がないのは明らかでした。訪問しても、介護スタッフから入居者さんの体調を伺う時間が取れません。素早く入居



ユニットの一つ。椅子型にもベッド型にもなるユニットを採用



別の個室のユニット。各個室で配置を工夫している



トイレと洗面台を一体化し、ゆとりある空間に



機能を凝縮したコンパクトな受付

者さんを診療して、すぐに帰るような状況でした」

そこで、下石理事長は、まずは介護施設に訪問歯科の必要性を認識してもらおうと考えた。ボランティアとして、訪問診療をすることにしたのだ。経営的には厳しい試みだが、介護側と信頼関係を築くことを優先した。

1年ほど経った頃だった。施設の一つで毎月のようにあった誤飲性肺炎による入院がゼロになっていた。「施設長さんがとても喜んでくださって、ようやく口腔ケアの重要性が認識されるようになりました。そのレポートが社会福祉法人の理事会に報告され、私たちの存在が広く他の施設にも伝わることになりました。それからは、ボランティアではなく、保険診療として認められ、介護側との連携がうまくいくようになったのです」

歯科と介護の連携を より強固にしたい

現在、スタッフは歯科医師が4名、歯科衛生士が6名、受

付が1名いる。訪問診療が軌道に乗った今、次のステップとして考えているのは、歯科衛生士に歯科以外の分野でもエキスパートになって欲しいということだ。

「うちのスタッフは、素晴らしい人ばかりです。ただ、将来のために、福祉や介護の専門知識も身につけて欲しいと話しています。歯科衛生士の仕事は、スクレーリングなどの技術で評価されますが、プラスアルファの知識を持っているほうが、より強みになります。介護の現場では、困っていることがたくさんあります。その支援もできるようになれば、活躍する場がもっと広がるはずですよ」

下石理事長は、介護施設の施設長や看護師などとも対等に話し合えるくらい、歯科衛生士には介護の専門家にもなって欲しいと願っているようだ。

また、高齢者のQOLを向上させるため、介護施設で働く管理栄養士との連携も深めていきたいと考えている。「管理栄養士さんとお話すると、入居者さんのためにやってあげたいと思っていることがたくさんあるんですね。口からの食事を重視するのは、歯科医師や歯科衛生士も同じです。私たちと管理栄養士さんたちが連携すれば、お年寄

りの食環境をもっと改善することができるのです」

熊本地震のあと、一時は歯科の世界から離れることも考えたという下石理事長。現在は、熊本と沖縄を頻繁に行き来し、忙しい日々を過ごしている。

「うちの歯科医院は、祖父の代から数えて100周年を超えました。100年続く仕事はそうありませんし、患者さんの健康維持やスタッフの雇用を考えると、社会的な使命もあります。将来の歯科業界には不透明な部分が多々ありますが、子どもたち2人も歯科医師の道を歩んでいます。これからも、患者さんのため、社会のためにできることを模索していきたいと思っています」



下石理事長とスタッフのみなさん

PROFILE

下石 衛 先生

- 1995年 福岡歯科大学卒業 ●2002年 複数の歯科医院の勤務医を経て、下石歯科医院京町診療所院長に就任
- 2017年 かなさんデンタルケア小祿開業

医療法人社団 みかさ会
かなさんデンタルケア小祿

沖縄県那覇市宮城1-18-1 エスタジオ小祿B1
TEL:098-987-4182 HP:https://kanasan-dc.com/